

県内経済とくらしむき

長崎県県民生活部統計課

〔1〕おもな動き

【推計人口】 …… 9月

平成30年9月1日の推計人口 1,340,180人

世帯数 561,618世帯

参考：H27.10.1 現在国勢調査総人口：1,377,187人、
世帯数：560,720世帯

1 推計人口

平成30年9月1日現在の推計人口は、1,340,180人で、前月(1,340,968)に比べ788人の減少となった。

市部では大村市(186)、平戸市(22)、雲仙市(4)、松浦市(1)の4市で増加し、長崎市(403)、佐世保市(122)、諫早市(107)、南島原市(44)、島原市(43)、五島市(37)、対馬市(29)、壱岐市(9)、西海市(8)の9市で減少した。

郡部において波佐見町(9)の1町で増加し、時津町(121)、長与町(31)、新上五島町(22)、川棚町(14)、東彼杵町(12)、佐々町(8)の6町で減少した(小値賀町は増減なし)。

自然動態は、出生数879人、死亡数1,413人で534人の減少、社会動態は、転入者数3,579人(県内転入を含む)、転出者数3,833人(県内転出を含む)で、254人の減少となった。

2 世帯数

平成30年9月1日現在の世帯数は、561,618世帯で前月(561,855)に比べ237世帯の減少となった。

(注)

異動人口推計 = H27国勢調査確定数 + 住民基本台帳(転入、転出、出生、死亡)

【賃金・労働時間・雇用(30人以上)】…7月

1人あたり現金給与総額 325,727円

対前月比 26.6%減少

対前年同月比 1.8%減少

1 賃金

7月の常用労働者1人当たりの賃金をみみると、現金給与総額325,727円で、前月に比べ26.6%減少し、前年同月に比べ1.8%減少した。

現金給与総額を定期給与(きまって支給する給与)と特別給与(特別に支払われた給与)に分けると、定期給与は243,048円で、前月に比べ0.1%増加し、前年同月に比べ2.2%減少した。

特別給与額は82,679円で、前年同月に比べ、690円減少した。

2 労働時間

7月の常用労働者1人当たりの労働時間をみみると、総実労働時間は152.9時間で、前月に比べ1.6%減少し、前年同月に比べ3.2%減少した。

総実労働時間を所定内と所定外に分けると、所定内労働時間は141.9時間で前月に比べ1.6%減少し、前年同月と比べ2.7%減少した。

所定外労働時間数は11.0時間で、前月に比べ0.9%減少し、前年同月に比べ9.1%減少した。

3 雇用

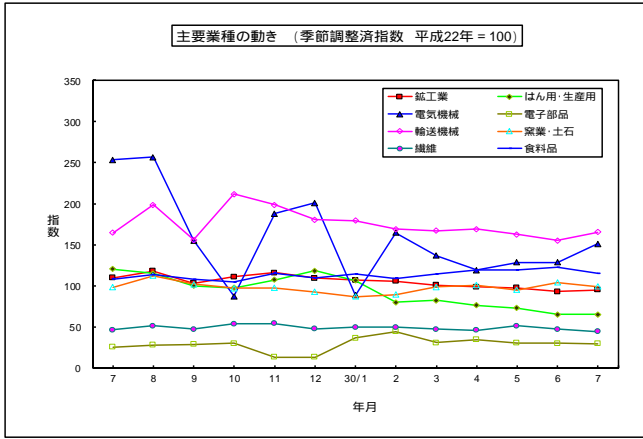
7月の常用労働者数は225,784人で、前月に比べ0.4%増加し、前年同月に比べ2.4%減少した。

【鉱工業生産指数】……………7月

平成30年7月の鉱工業生産指数

(平成22年=100、九州は速報値)

区分	季節調整指数		原指数	前年同月比(%)
		前月比(%)		
長崎県	95.1	2.4	94.2	12.4
九州	p106.2	p0.1	p111.5	p0.5
全国	102.3	0.2	105.4	2.2



平成30年7月の鉱工業生産指数は、季節調整済指数が95.1で前月比は2.4%の増、原指数は94.2で、対前年同月比は12.4%の減となった。

業種別にみると、電気機械工業、輸送機械工業、はん用・生産用機械工業など7業種が上昇し、食料品工業、繊維工業、窯業・土石製品工業、電子部品・デバイス工業など6業種が低下した。

主な上昇業種

業種	前月比 (%)	前年同月比 (%)	上昇に寄与した主な品目
電気機械工業	17.4	37.6	交流発電機
輸送機械工業	6.6	0.3	修繕船
はん用・生産用機械工業	0.2	46.4	ボイラ

主な低下業種

業種	前月比 (%)	前年同月比 (%)	低下に寄与した主な品目
食料品工業	6.1	7.2	生菓子(洋生菓子)
繊維工業	5.9	3.4	織物製外衣
窯業・土石製品工業	4.8	2.9	生コンクリート
電子部品・デバイス工業	1.0	18.4	半導体集積回路

(注) 前月比は季節調整済指数の対前月増減率、前年同月比は原指数の対前年同月増減率のことである。

【長崎市消費者物価指数】…………… 8月
 総合指数(H27=100) 103.0
 対前月比 (%) 0.5
 対前年同月比 (%) 2.4

平成30年8月の長崎市の消費者物価総合指数は、

平成27年を100として、103.0である。

前月比は、0.5%の上昇で、主な上昇要因は「食料」の+0.9%、「教養娯楽」の+2.9%であり、主な下落要因は「家具・家事用品」の1.8%、「被服及び履物」の1.3%である。

前年同月比は、平成30年5月は+1.6%、6月は+1.8%、7月は+2.1%と推移した後、8月は2.4%の上昇であった。

また、生鮮食品を除く総合指数は102.8であり、前月比+0.3%、前年同月比は+2.0%であった。

(前月との比較)

上昇した費目

食料	0.9%
住居	0.1%
光熱・水道	0.2%
保健医療	0.8%
交通・通信	0.2%
教養娯楽	2.9%

下落した費目

家具・家事用品	1.8%
被服及び履物	1.3%

【家計(長崎市・勤労者世帯)】…… 8月

消費支出(一世帯当たり) 360,413円
 前月比 24,009円増(7.1%増)

平成30年8月の長崎市・勤労者世帯(農林漁家世帯を含む)の消費支出は360,413円で、前月比7.1%の増。

平均消費性向(可処分所得に占める消費支出の割合)は84.4%であった。

主な支出内容	支出額(円)	対前月増減率(%)
食料	77,689	5.2
住居	89,478	79.1
光熱・水道	21,129	23.8
交通・通信	42,187	9.8
教養娯楽	31,495	11.7

(注) この調査は全国調査のため、長崎市における調査世帯数が少なく、結果が大きく変動することがあります。「長崎市の勤労者世帯の家計の平均」と考えず、参考値として利用ください。